

# 市民ネットワーク千葉県

2015年10月

84号

## 特集

### 二面

共通番号（マイナンバー）で私たちの暮らしはどうなる!?

### 三面

安保法案に反対する若者「SEALDs」インタビュー

戦後70年を迎え、平和憲法が風前の灯火、危機的状況にあります。昨年7月1日「集団的自衛権行使容認閣議決定」以来、市民ネットワークでは「安倍政権の暴走にストップ!」と大きく声を上げ、地域で活動を続けてきました。今こそ市民の出番、市民の力で変えなければなりません。

## 地域で

### 千葉県議会議員 入江晶子

議入りとなりましたが、政府の杜撰な答弁が目立ち、憲法学者をはじめ各方面から「安保法案は違憲」との声が大きく広がり、内閣支持率も徐々に低下してきました。



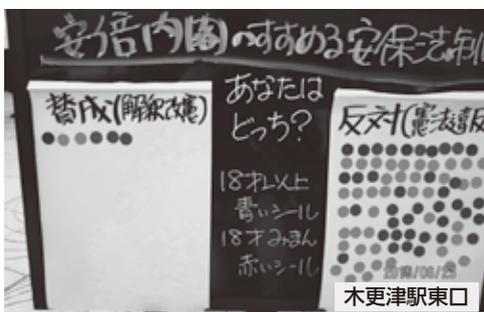
千葉駅クリスタルドーム

澤地久枝さんが提案した全国でいっせいに「安倍政治を許さない」ポスターを掲げる運動は、全国1000ヶ所以上で行われたとされています。(7/18)



千葉駅前

市民団体が行ったリレートークとシール投票。市民ネットの議員、県議や国会議員も党派を超えて参加。市民もマイクを握り訴えました。(8/29)



木更津駅東口

「安保法案にあなたは賛成? 反対?」選挙権を持たない人も投票できるシール投票は県内各地で行われています。(6/23)



国会前

国会前行動には、12万人が集結。大勢の市民ネットメンバーも参加しました。(8/30)



市原

毎月行われているパレード。7月8日には150人の市民が参加。(8/16)

## 国会前で

7月16日、自民・公明与党は、前日の衆議院特別委員会に続く本会議においても安保法案を強行採決。国会前の抗議デモは勢いを増しています。これまで政治に関わりのなかった市民や大学生など若者も国会前に駆けつけ、「戦争法案、今すぐ廃案」「戦争する国、絶対反対」「アベは辞めろ」「9条守れ」と大合唱。私た

## うわべだけ謝罪

ちも市民ネットの旗を掲げ、声を振り絞っています。

8月14日、戦後70年安倍談話の発表。安倍首相は強行採決による内閣支持率のさらなる低下を恐れ、「反省」「おわび」の言葉をいれましたが、村山・小泉談話を形式的に踏襲したにすぎませんでした。それどころか「積極的平和主義」を新たなキーワードとして盛り込み、安保法案成立に向けての意欲を国内外に示しています。これに対し、中国や韓国は「誠意がない過去形の謝罪」と不信感をあらわにし、安倍首相の二枚舌を見抜いています。

## 政党にはまかせ ておけない!

現在、参議院で審議中の安保法案。8月30日には国会周辺に12万人が集結し、廃案を求める国民の意思が大きく示されました。参議院での強行採決や「60日ルール」を使った衆

## 今こそ、私たちの出番

この呼びかけに私たちも応え、国民不在の安倍政権に立ち向かっているかなければなりません。子や孫の世代に戦争のない平和な社会を引き継ぎたい。この強い意志で私たち一人ひとりが安倍政権を退陣に追い込む行動を重ね、地域から大きなうねりを創り出していきましょう。(8/30記)

## 政策講演会のご案内

**日本の進むべき道**  
～改革はするが、戦争はしない～  
安倍政権の暴走をくいとめるには

講師 古賀茂明さん  
(元経済産業省官僚 フォーラム4提唱者)

日時 10月24日(土) 14時～15時45分

会場 ホテルメイプルイン幕張

参加費 500円(チケット販売中/定員200)

# プライバシーが丸裸 監視社会がやってくる

国民全員に12ケタの背番号をふり、税や社会保障などの個人情報为国が一元管理するマイナンバー制度が始まります。10月5日現在の住民票の住所へ簡易書留で「通知カード」が送付され、来年1月、市・区役所窓口で「個人番号カード」が発行されます。一度付いたら変えられない「生涯不変のマイナンバー」は私たちの暮らしにどう影響するのでしょうか。

佐倉市議会議員  
伊藤 とし子

## そもそもマイナンバーって何？

マイナンバー制度により住基ネットの4情報（氏名・性別・生年月日・住所）と、所得・税金・年金をはじめ雇用保険・健康保険・福祉など約100種類の役所の事務が結び付けられます。メリットとして国や自治体の事務の効率化と、生活保護などの不正受給や脱税の防止が挙げられています。これは役所の論理です。国民側から見ると、給与所得者は扶養家族のアルバイト収入まで厳しく把握される一方、事業所得や海外資産の全ての把握などは不可能なので、極めて不公平です。

## 歯止めなき利用拡大

国はすでに、特定健診や予防接種の管理、預金口座開設にまで番号利用を拡大させました。次のステップは、「個人番号カード」に埋め込んだICチップ機能を利用した「公的個人認証」の普及です。これにより運転免許証・健康保険証やクレジットカード等へもどんどん利用を拡大させる計画です。

本人確認をはじめ買い物、旅行、病院など日常生活でカード利用が進めば、全ての個人の行動が逐一記録され、蓄積されていきます。さらにカード普及が進めば、身分証明書として常に携帯し、提示を求められる社会がやってくる。

## 秘密保護法と表裏一体

国はこれまで、マイナンバー制度のシステム構築に莫大な税金を投入してきました。社会全体のコストは3兆円、毎年の維持費に300億円かかるともいわれ、巨大な「トコモノ」事業と言わざるを得ません。

マイナンバー制度で私たちのプライバシーは丸裸になり、国家による国民監視社会が出来上がります。そして、どの情報かどうに国に利用されているかは、特定秘密情報として、

て私たち国民には知らされません。万が一その情報を取得し公表したら秘密保護法違反として処罰されるのです。

## 企業の負担も大変

全国すべての企業はマイナンバー対応を迫られ、従業員やその家族取引先など広範囲に番号収集が義務付けられています。国内の400万社もある全ての民間企業で、十分なセキュリティ対策を講じるのは至難の業です。昨年起こったベネッセホールディングスの2070万件もの顧客情報流出事件を見ても明らかです。

## 被害が出てもしき寝入り

6月、日本年金機構の125万件の情報漏えい事件が発覚しました。事件の全容は未だ判明していませんが、事後処理に8億円もかかり関連詐欺被害も出ました。

サイバー攻撃や人的ミスによる情報流出は防ぎようがありません。まして、生涯不変のマイナンバーで国民すべての情報を一元管理するので、被害の大きさは想像もつきません。残念なことには、被害が出てしまえば、その所在はあまいで、泣き寝入りするしかありません。

## 危険なマイナンバー制度の見直しを

G8（米国、カナダ、英国、ドイツ、フランス）

8月28日、参議院会館での全国集会には110名が参加。カード発行にむけ自治体の抱える問題と多額の税金が使われている実態を報告した。



7月6日、共通番号・カードの廃止をめざす市民連絡会（共通番号いらないネット）は衆議院会館で記者会見を行った。市民ネットを含む15名の議員がかけつけ、議会で取り上げた質問や各自治体の状況を報告し、以下の共同声明を発表した。

- 「番号利用拡大法案の廃案及び番号法10月施行の延期を求める」
- 1. 年金情報流出事件徹底説明、番号利用拡大法案を廃案を求める。
- 2. 番号の通知を延期、導入スケジュールを全面的に見直すこと。
- 3. 年金システムの開発を停止し、共通番号制度そのものを撤廃すること。



8月28日、参議院会館での全国集会には110名が参加。カード発行にむけ自治体の抱える問題と多額の税金が使われている実態を報告した。

## 地方から声を

監視社会を強めるマイナンバー制度を、国の制度だからと言って、あきらめるわけにはいきません。

8月28日、「共通番号もカードも要らない！全国交流集会」ではマイナンバー制度開始直前となって、詳細が明らかになってきた問題点と危険性を訴えました。

## 市民ネットも緊急学習会を開催

8月10日、プライバシーアクトション代表の白石孝さんを講師に迎え、マイナンバー制度の仕組みを改めて学びました。

白石さんは、「今後、国は3年以内に戸籍にひも付けし、預貯金口座、不動産、運転免許証、学歴、健康保険証と利用拡大していき、2020年オンラインピックでは入口ゲートで指紋認証、顔認証でテロ対策に利用されるだろう」と、警鐘を鳴らしました。これから日本で始まる番号カード社会の行く末が良くわかりました。

## 自分のことは自分で守る

「個人番号カード」の申請は義務ではありません。自分の情報が他人に不正利用されないようにするには、まずは「個人番号カード」を利用しないことです。本人証明のためなら、今まで通り運転免許証やパスポート、あるいは健康保険証と年金手帳などの組み合わせで証明できます。被害に遭わないためにも、大事なプライバシーを守るためにも、しっかりと自衛していかなければなりません。

顔写真のついた個人番号カードには、名前、住所などの基本情報と個人番号が明記され、ICチップには所得や年金、保険などの情報が詰め込まれる。猫のイラストは、共通番号いらないネットのチラシに掲載された「プライド高い猫」

**個人番号カードは持たないそれが人間のプライド！**

# 今、声をあげないと間に合わない！ 学生たちが立ちあがった



「安保法案反対」の声が全国で益々大きくなる中、大学生や高校生など若者たちの行動が目立っています。今、国会前集会などで大きな注目を浴びている「SEALD's」(自由と民主主義のための学生緊急行動)のメンバーである亀山沙彩さん(千葉県在住、都内大学1年生)にインタビューしました。

**Q** 亀山さんがSEALD'sに参加したきっかけは？

**A** 高校生の頃から政治に疑問を抱いていたが、政治は他人事と考えている友達が多い中で、肩身が

狭かった。そんな中、特定秘密保護法に反対するSASSPL(S

EALD'sの前身)の活動に共感して参加した。高3のとき、集团的自衛権が閣議決定されたのは

ショックだった。

**Q** 活動は楽しいですか？

**A** メンバーとお互いの考えを交換するのは楽しいけれど、デモは疲れるし、声は枯れるし、自分のための時間は削られるし、楽しいとは言えない。でも、今、声をあげないと間に合わない。未来に後悔と妥協をしないためにも、参加している。

**Q** SEALD'sに参加する「と」への、ご家族の反応は？

**A** 両親は子どもを尊重してくれ、反対はされなかった。私の活動で政治がより身近な存在になり、食卓で語り合う機会が増えた。家族でも政治についての考え方は違っているので、険悪な雰囲気になることもあるが、自分の考えを整理するきっかけになるので良かった。

**Q** 日本の学校では、政治についてきちんと教えないという批判がありますが、これまでの経験から、どのように考えますか？

**A** その通りだと思う。学校は、教えるだけが目的ではなく、生徒自身が考えるきっかけとなる様々な視点を与えるべきだ。中学生の時、教科書の「江戸幕府は、260年あまりも続く戦乱のない平和な時代を作り上げました」という記述に対し、「平和ならなぜ一揆が起こったのか、本当に平和だったのか」を考え、クラス全員で討論する授業をした。その時、歴史は一般市民の目線では語られず、偉い人の栄光の羅列なのだと感じた。この授業があったからこそ、私は自分で真実を探すようになった。しかし、一般的に、学校には政府の都合のよい授業をするように圧力がかかっているように

**Q** 私たち大人に期待はしていますか？

**A** 大いに期待している。SEALD'sに続いて、OLD'sやMIDDLE'sが結成され、お母さん主催のデモまで行われるようになった。世代を超えた反対運動は、安倍政権を更に窮地に追い込むことができる。子どものため、未来のために考え働きかける大人を尊敬している。

**Q** 今、何を一番訴えたいですか？

**A** 集团的自衛権の行使が容認されたら、必ず戦場に行く人が出る。「自分は自衛官じゃない、徴兵制はない」と、他人事にしてはいけない。人が殺し合った犠牲の上に成り立つ平和はいらない。命に、多数決も価値の無い。命を尊重しあい、お互いの幸せを作りあげていくことが平和だと思う。今は理想かもしれない。でも、私の未来に妥協はしないし、後悔もしたくない。だからこそ平和のために貪欲でいようと決めている。

聞き手 大野博美



連日国会前で熱いパフォーマンスを繰り広げるSEALD's。ラップ調のコールは多くの若者を惹きつけている。

「自分の知らない世界で日本人が殺し合つかもしれない、そこから憎しみと悲しみの連鎖が生まれるかもしれない」という不安にかられた。また、権力者を統制するはずの憲法に違反し、国民に十分な説明もせず強引に成立させようとしている安倍政権に危機感を抱いた。大学生にな

**Q** SEALD'sの活動に対する友人たちの反応はどうですか？

**A** 周りの友人たちは、安保法制や解釈改憲、集团的自衛権という言葉すら知らなかったが、私の活動を通して、「なんでデモなんかに行くの？怖くないの？」という問いから話が膨らみ、他人事でないことに気づき始めた。一方で、私には「デモに行っちゃっう過激な人」というレッテルを貼られている気がする。また、「デモするなんて凄いな、頑張ってるね」と言われたりする。ここに大きな隔たりを感じる。実際、少し友人が遠ざ

**Q** 千葉県の政治について言いたいことは？

**A** 地域によって、外国人への偏見や差別があるのが問題。この国を担う人として認め合い共存するために、地域行政が、情報共有などきめ細かくサポートしていく必要がある。

**Q** 選挙権が18歳まで引き下げられたことを、どのように考えますか？

**A** 今の若者が政治に無関心である一番の原因は、政治の話をする風潮がないことだと思う。自分の頭

11月3日  
(火・祝日)

九条の会・千葉地方議員ネット10周年記念集会

〜(仮) 世代を超えて、平和を守ろう！〜

千葉市生涯学習センターメディアエッグ  
亀山さんたちSEALD'sのメンバーが登場！

# 8/9 投開票 柏市議会選挙結果

新人 林 さ え こ **当選** 3,133票

## 市民ネットワーク千葉県

### 政策プロジェクト



私たちは市民発の政治団体として県議会や市議会に議員を送り、議会・行政に市民社会の風を吹き込んできました。働くひとの権利が守られる働き方、弱い立場の人が安心して暮らせる地域、子どもを産み育てたくなる公正で安心な社会制度、持続可能な環境政策などを提案するために、分野ごとの政策プロジェクトが活動しています。千葉県の2016年度予算に対する要望書も、政策プロジェクトが中心となり作成しています。

#### ▶ 子宮頸がんワクチンプロジェクト

体調不良の原因がワクチンと気がついていない被害者の掘り起し、新たな被害者を生み出さないための情報発信、国や地方行政への救済アクションに取り組みます。

#### ▶ 指定廃棄物プロジェクト

指定廃棄物の問題を広く伝え、県内の指定廃棄物の状況を調査して、県が主体的に関わるよう求めています。さらに放射性廃棄物が不法に埋め立てられないよう監視し、特措法の見直しも視野に入れて活動しています。



みなさんに知ってもらいたい情報をわかりやすくまとめてパンフレットを作成しました。

#### ▶ 介護保険プロジェクト

3年ごとにくるくる変わり、使いづらくなる介護保険制度。住み慣れた地域で暮らしたいを基本に、国の制度ですが、自治体にできることを提案しています。秋には介護保険改定の影響についての検証に取り組みます。

#### ▶ こどもプロジェクト

こどもの貧困問題に継続して取り組んでいます。また、教科書採択や国の教育再編の影にひそむ課題を「みえる化」し、学習会や現地見学を企画しています。

#### ▶ ジェンダープロジェクト

県内の男女共同参画施設を訪問し、利用状況や訪ねた自治体の女性施策を聞いています。DVやセクハラなどの人権侵害はもちろん、働く女性の非正規雇用、家事手伝いという言葉に隠れた無業女性の問題など、情報収集や学習をしています。

#### ▶ 沖縄プロジェクト

9月9日の工事停止期間終了後の政府の動きをにらみ、情報共有を密にして行動提起をしていきます。戦争法案、沖縄、千葉県内の自衛隊の問題は一体のものです。こちら情報発信、行動提起に力を入れていきます。



沖縄の現状と問題点をわかりやすく書いたパネルを作成し、千葉市で毎年、夏に行われているピースフェアで展示しました。

市民ネットワーク千葉県は、生活クラブ生協組合員による、せっけん運動から生まれました。その後、福祉・教育などの分野で活動する団体が次々と生まれ、現在は10団体で「生活クラブ千葉グループ協議会」を結成し、市民ネットワーク千葉県はオブザーバーとして参加してきました。このたび、「政治団体の参加により、他団体の活動が制限される」との協議会の判断による申入れがあり、同グループを退会することになりました。



山本 友子 (市原市選出) 入江 晶子 (佐倉市選出)

10月5日(月) 入江晶子が代表質問をします。



## 障がいのある子が通う「特別支援学校」 4月から5校が開校!

これまで特別支援学校は、生徒は増えているのに教室が足りず、特別教室を通常学級に当てたり、なかには廊下を潰してそこに仮設の教室を急ごしらえしたりしています。議会でも地元の特別支援学校の過密ぶりを訴える声が相次いでいました。**充実の新設校 地元校との落差も**：そんな状態の緩和策として、ようやく今年、新設校がオープン。大網白里特別支援学校(旧白里高校)、船橋夏見特別支援学校(旧船橋旭高校)、習志野特別支援学校(旧袖ヶ浦東幼稚園)、矢切特別支援学校(旧松戸矢切高校)、飯高特別支援学校(旧飯高小学校)です。文教常任委員会では早速5校を見学しました。旧校舎を改修してバリアフリー化を図ったり、スクールバスの昇降スペースを取るなど工夫しています。高校を改修した学校では、校庭や体育館の広さに驚きます。どの学校でも地域に開かれた学校をめざそうという先生方の意気込みが伝わってきます。視察した議員からは口々に「地元校では教室も足りない。職員室が狭くて先生の机のスペースさえ確保できないのに、ここはいいね。」という感想が漏れました。

スクールバスの乗車時間短縮を気になるのは、近くに学校がなくスクールバスが広い範囲をカバーするため、乗車時間が片道で1時間30分以上という生徒が、県全体で32人もいることです。今年、新たにスクールバスを20台導入しましたが15台は新設校の分なので、従来の学校には5台増やされるだけ。そうでなくても体力のない子どもたちにとって長い乗車時間は過酷です。今後も、乗車時間短縮に向けてバスの台数を増やすよう働きかけていきます。

千葉県議会議員 山本友子

### ● 市民れんらく帳 ●

#### ● スクールソーシャルワーカー学習会

日時：10月23日(金) 18:00~20:00  
会場：市民ネットワーク千葉県 4階会議室  
講師：牧野晶哲(あきのり)さん(白梅学園大学講師)  
連絡先：市民ネットワーク千葉県  
資料代：500円

#### ● 講演会：若い女性の貧困～2人に1人は非正規

日時：11月7日(土) 13:30~16:00  
会場：船橋市男女共同参画センター  
講師：栗田隆子さん(働く女性の全国センター代表)  
主催：DV防止サポートネットちば  
連絡先：FAX 047-402-6579

#### ● PAC-3 配備から8年、木更津にオスプレイ来るな!(仮)

日時：11月8日(日)  
場所：JR津田沼駅北口デッキ  
内容：13時~集会・リレートーク 15時~津田沼駅周辺デモ  
主催：パトリオットミサイルはいらない! 習志野基地行動実行委員会  
連絡先：090-3509-8732 (吉沢)



お問い合わせ 市民ネットワーク千葉県 TEL 043-201-1051